

令和3年度 山形市立東沢小学校学校経営グランドデザイン



「共生・共学・共育」の学校 東沢小学校学校教育目標
 — 誇りと夢をもち 未来をひらく たくましい「雁戸の子」を育てる —

＜重点目標の設定理由＞

- ①主体性や自主性の育成
- ②よりよい生活の実現
- ③表現力の育成
- ④多様な学年、年代、その他文化等との交流
- ⑤地域の教育力の活用
- ⑥新しい学習への対応

学校教育目標具現化のための視点 <「こまくさ」の姿>を育む5つの教育

こ ころの美しい子ども 心を育てる「 胸育 」	ま じめに勉強する子ども 毎日の授業で育てる「 今日育 」	く じけず元気に運動する子ども 健康な心身を育てる「 強育 」	さ いごまで仕事をやりぬく子ども 仲間と粘り強く取り組む姿勢を育てる「 協育 」
--	--	--	---

— 重点目標の評価項目・検証方法 —

- ①客観的データ
・全国学力学習状況調査、Q-U 質問紙結果、体力測定結果
- ②教員の自己評価、教職員評価
- ③児童・保護者・学校関係者による評価(学校評価)
- ④学校運営協議会による熟議と協働による評価
- ⑤その他、いじめアンケート、心のアンケート(本校独自)
情報モラル調査や教育活動の反省及び実践報告

【重点1】生活・学びの基礎・基本の徹底	【重点2】 自覚・自律・自発「児童3G」の育成
○あいさつと歌声が響く学校 ○規範意識、学習ルールの確立とスキルの育成 学びに向かう力の育成	○対話と共感の重視 ○自尊感情、自己有用感の育成 ○児童会活動等諸行事での自主的・自治的活動の充実

重点目標達成のための具体的な取組

【認め合い】	【学び合い】	【支え合い】
①自他の尊重→自尊感情、自己有用感育成 ②学習や生活のルールづくり ③異学年、異世代、異文化等との積極的交流 ④自主的、自治的活動の充実	①校内研究及びOJTの充実 ②生活科と「東沢タイム」(総合)等の充実 ③授業づくりと授業改善の励行(探求型学習へ) ④総合的な学習の時間の充実	①学校運営協議会による学校づくりへの移行(コミュニティスクールへ) ②地域の教育力の積極的な活用 ③家庭や地域との教育情報等の共有

重点目標達成に向けた取組について 教職員一人一人が具現化する手立て

- ①学習や生活ルールの確立と共有、目指す子ども像、育てたい「資質・能力」の具体的設定(学級経営の充実) ②授業の充実と学年のカリキュラム・マネジメント推進 ③校長面談等で課題・改善のPDCAの確実な実践 ④組織的対応の強化

学校経営説明会の方針と手立ての周知	教職員評価の方針と手立て	学校運営協議会推進と働き方改革
○学校が見える・わかる・理解できる資料・説明 ・「保護者のための教育ナビブック」を作成・配付 ・学校経営の概要を資料化して説明(定例会議等で) ・2月は、学校評価の改善事項を説明 ・学校だよりとホームページの活用 ・評価項目等の改善、修正	○評価内容のオープン化と周知、切磋琢磨 ・重点目標の達成度や学級経営、各分掌部の運営、働き方改革等の項目を共有 ・評価内容を開示し、相互に周知しながら切磋琢磨できる環境づくり ・あたたかく風通しのよい職場づくり	○学校運営協議会と働き方改革の確立と強化 ・学校運営協議会体制の確立と強化 ・学校運営協議会による学校評価及び既存の学校評価との効果的活用 ・地域との連携強化「顔の見えるつき合い」 ・働き方改革の推進

重点目標を具体化する「研究活動」

- 研究主題**
「主体的に考え、学び合う子どもの育成」
 ～みんなでつなぐ授業をめざして～
- 東沢小学校の児童につけたい資質・能力**
「自ら課題を見だし、探究し続け、自分の気持ちや考えを伝え、高め合える力」
- ★中心教科【未定】**
- ①授業づくりと授業研究会を中心に、定期的な職員カリキュラム・マネジメント研修の実施(RPDCAの検証)
 - ②探究型学習や学級のカリキュラム・マネジメントに即した授業研究を通じた「資質・能力」育成を図る。
 - ③学校としての学習ルールや学習規律を整え、家庭学習の習慣づくりを推進する。
 - ④NRTや全国学テ・県学テ、Q-Uテストの結果等を踏まえ、効果的な学力向上対策について検討し、全校で取り組む。

- 【1】教職員の姿勢**
「誠実・着実・堅実」
- 【2】人財育成の方針—鼎で育む—**
・学年部の連携→全体の連携
・上学年・下学年の鼎3名体制の推進
- 【3】働き方改革**
・同僚性の醸成
・連帯感の醸成
・業務の優先順位
・見通しのある業務計画
・校務共有フォルダの活用
・新たな業務改善の推進
・教科担任制(理・書写・外国語等)の推進による業務の平準化・負担軽減
- 【4】その他**
・PTAとの連携
・組織的対応体制の確立と強化
・外部関係機関との連携

令和3年度、特に力を入れる学校経営の行動視点

地域や専門機関と連携した危機管理体制の強化	学力向上対策	「未来を拓く」学習の推進	カリキュラム・マネジメントサイクルの構築	「働き方改革」の推進
○安心・安全な学校づくり→学校事故防止・アウトメディアへの取組み。いじめの徹底防止 ○問題行動への迅速な組織的対応 ○校内相談体制の確立と充実 ○コミュニティ・スクール体制の確立	○学校研究の充実と推進 ○学習規律と家庭学習の習慣づくりの推進 ○算数タイム等の励行 ○基礎・基本の徹底と探究型学習の推進	○いのちの学習、安全・防災教育の充実 ○タブレットの有効活用とICT教育の推進 ○プログラミング学習の実践と蓄積 ○外国語教育の充実	○学習指導要領全面実施を踏まえたカリキュラム・マネジメントの定期的な確認と改善 ○コロナ化を踏まえた教育活動の実践(R1のケースとR2のケースでの計画立案)	○行事の精選、体系化 ○PTA会議等の精選と改善